

新基地建設反対名護共同センターニュース

「新基地」ノー 沖縄民意の勝利！

11市での2氏の得票

	伊波	古謝
那覇市	63,000	59,770
宜野湾市	20,017	19,111
石垣市	7,338	8,351
浦添市	21,652	22,269
名護市	11,555	12,068
糸満市	10,440	10,761
沖縄市	24,703	23,929
豊見城市	11,862	12,484
うるま市	21,072	21,856
宮古島市	6,258	10,705
南城市	8,850	9,732



最終得票数
伊波洋一 274,235 **当選**
古謝玄太 271,347



まれにみる大接戦、午前0時に「当確」

「オール沖縄」は那覇市内の会場で開票を待ちました。最初の発表が午後10時25分(30%)で古謝85,983、伊波85,691。相手候補がややリード。その後、各市町村の開票状況が出て抜きつ抜かれつ、まれにみる大接戦が続きました。11時56分に大票田の那覇市97.1%で伊波66,300、古謝65,900と出て大きな拍手と歓声。その直後の午前0時、各TV局が伊波氏の「当確」を発表。会場は大きな歓声と拍手、万歳三唱やカチャーシー、グータッチなどで喜びを分かち合いました。

「勝って兜の緒を締めよ」

安和・塩川の牛歩続く

安和棧橋と塩川港では12日も県民数人が牛歩を続けていました。塩川で本部町島ぐるみの男性は選挙結果について「勝てば官軍だ。勝ってよかった」。安和では男性が「勝って兜の緒を締めよ。このままでは知事選が危ない」と危機感を募らせていました。「安和では1日800台前後のトラックが入っている。何もしなければ1000台も入る。もっと名護市民が駆け付けてほしい」と話していました。



気を引き締めて知事選勝利をめざそう！

ゲート前で「オール沖縄」の勝利に沸く



写真中央が瀬長事務局長(11日、午前9時過ぎ)

参院選から一夜明けた11日、ゲート前には20名余りの県民が座り込みに参加。みんなニコニコ顔で「お疲れ様。よかったねー」とお互いにグータッチでエールの交換をする光景が見られました。司会の県統一連の瀬長和男事務局長は「最近、市長選で負けが続き月曜日は悔しい思いをしてきたが、今日は久々にうれしい思いをしてきた。この勝利におごることなく、9月の知事選で必ず勝利するように気を引き締めて準備しましょう」と訴えました。

「オール沖縄」 伊波氏が大激戦制し再選

参院選挙が10日、投票開票され沖縄選挙区で「オール沖縄」の伊波洋一氏が激戦を制し再選を果たしました。辺野古新基地建設を推進、軍備拡大を主張する自民党候補に対し、ウクライナ情勢の下で「軍事強化では沖縄が再び戦場になる」との「オール沖縄」の訴えが高齢者や無党派層で危機感が広がり、伊波氏の支持へと結びつきました。

権力総動員の締め付け跳ね返す

選挙期間中政権与党は、岸田首相はじめ茂木自民党幹事長、菅前首相など多くの幹部を連日沖縄入りさせ権力を総動員し企業・団体ぐるみの締め付けをかつてなく強めました。この結果、投票日直前の世論調査で伊波氏が相手候補にリードされる場面も生じていました。この中で「オール沖縄」は権力的な締め付けに逆ばねで結束し、「沖縄を二度と戦場にさせない。基地は敵の標的になる。辺野古新基地建設反対を」と支持を広げぬきました。

伊波氏は「岸田政権が乗り込んできた中での勝利だ。二度と戦争をしない、させないと訴える沖縄の民意の勝利だ。平和で基地のない沖縄をめざすとともに、経済や県民生活の回復にも取り組みたい」と話しました。